



日本共産党区議会議員

こんにちは
伊藤和彦です

自宅 足立区花畑6-20 - 1
足立区役所 電話3880 - 5111 (内線4650 ~ 4654)
日本共産党区議団 直通3880 - 5770

<http://www5.familie.ne.jp/~k-itou/index.html>

第9回 区民アンケートへのご協力ありがとうございました

2373人の回答



アンケートはどう活用されるの?
- 双方向型の活動として何より重視、
全てに目を通して生かしています -

私たちの区議団活動で何よりも重視しているのが、このアンケートです。

いただいた全てのアンケートは、具体的なお意見も含めてすべてデータ化し、同時に一人一人のご意見を、区議が分担して全て目を通し、差し迫ったご意見についてはすぐに当事者にご連絡しています。

区政政策は、どの分野も重要ですが、区民要望が高いものを、区議団として重点政策化しています。

アンケートは、区民のくらしの実態やご要望をしっかりと受け止め、その声を政治に届ける双方向型の活動の基本でもあり、いただいたご意見全てが私たちの力になります。

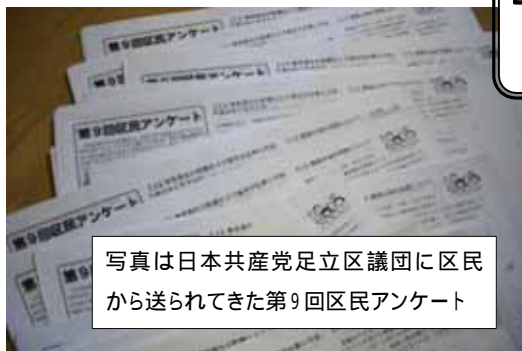


8月11日、アンケートの道路などの緊急改善要望について、現地調査をし、区の担当部長に正式に改善申し入れを行う



8月14日、アンケートなどの要望の中で、ただちに補正予算で対応すべきものについて、区長に「緊急予算要望」を行う

頂いたご意見・まとまったアンケート結果を、来年度の前算要望書に反映するとともに、本会議や各委員会でも「生の声」を直接区政に届けてまいります。



写真は日本共産党足立区議団に区民から送られてきた第9回区民アンケート

暮らし向きが「変わらない」と答えた方も「苦しいまま変わらない」と答え回答が多く深刻な実態が浮き彫りに

年代	割合	性別	割合
10代	0.11%	男	54%
20代	4.20%	女	46%
30代	12.12%		
40代	11.20%		
50代	13.14%	この1年で暮らし向きは	
60代	27.95%	よくなった	1.66%
70代	24.45%	変わらない	25.84%
80代	6.57%	苦しくなった	72.47%
90代	0.27%		

「苦しくなった」と回答した方の2人に1人は、その原因として「医療費の負担増」をあげ、その具体的な内容は、介護も含む回答。今の生活困難が、単に不況が理由でなく、政治災害であることを感じました。

生活が苦しくなった原因は?	
【収入が減った】	
第1位	年金
第2位	給与
第3位	事業
【負担が増えた】	
第1位	医療費
第2位	税金
第3位	公共料金
第4位	家賃
第5位	教育費
第6位	ローン
第7位	養育費

全体として「反対」が多いのですが、「社会保障のためなら」などの消極的賛成も一定ありました。日本共産党は「大企業や大金持ちの行きすぎた減税を正し、政党助成金や軍事費、大型開発のムダを削れば、増税しないで社会保障の財源はできる。増税ストップ。食料品は非課税に」と考えています。

憲法9条を変えることについて	
変えるべきではない	57.84%
変えた方がいい	20.28%
わからない	21.88%
消費税の増税について	
増税はやむを得ない	15.48%
消費税の増税は反対	60.37%
その他	24.15%

6月に、地域に無差別で配布をした区民アンケートにたいし、過去最高に迫る2373人(9月9日現在)から回答を頂きました。ありがとうございました。その結果がまとまりましたので報告します。

頂いたご意見・ご要望を大切に生かします

(一面より続く)

すべての分野で、第一位は経済的な負担にかかわることでした。足立区政(民主・自民・公明が与党)では、来年度の予算編成方針でも「区民のくらし応援」の視点が全くありません。改善をせまりがばります。

不安・お困りのこと		
【子育て】	第1位	お金がかかる
	第2位	経済的に心配で子どもを持ってない
	第3位	保育園・学童に入れない
	第4位	子育てが辛い
【健康】	第1位	保険料が高い
	第2位	医療費が心配で病院に行けなかった
	第3位	保険料を滞納している
	第4位	保険証がない
【年金】	第1位	金額が少なく生活できない
	第2位	将来もらえるか心配
	第3位	保険料が高い
	第4位	保険料を滞納
	第5位	入っていない
住まい	第1位	家賃が高い
	第2位	家が狭い
	第3位	都営住宅に入れない
	第4位	立ち退きを迫られている
教育	第1位	経済的に進学、通学に不安
	第2位	私費負担が多い
	第3位	学力が身につくか心配
	第4位	子どものいじめ

今回意外に多かったのは、自転車の道路についてです。大型開発よりも社会保障、身近な道路、施設建設は、特養ホームや保育所などの身近な施設を、そつすることではネコでなく街場の中小企業の仕事確保にもつながると考え、具体的に提案してまいります。

区政で力を入れてもらいたいもの	
第1位	高齢者福祉
第2位	医療
第3位	防災、震災対策
第4位	生活困難者対策
第5位	防犯対策
第6位	地球温暖化対策
第7位	出産・子育て支援
第8位	障がい者福祉
第9位	歩道のバリアフリー
第10位	ゴミリサイクル
第11位	放置自転車・バイク対策
第12位	学校教育
第13位	学校の住宅
第14位	保育園・学童の増設
第15位	緑化対策
第16位	交通対策
第17位	道路整備
第18位	生涯学習
第19位	虐待防止対策
第20位	産業振興
最下位	都市開発

花畑団地方面から六町駅へ バスが走ります

六町駅 花畑団地 桑袋団地
 運行開始予定日 10月上旬～中旬
 バス事業者 東武バスセントラル
 導入車両 ノンステップ中型バス1台
 六町駅 花畑団地(循環)
 運行開始予定日 10月上旬～中旬
 バス事業者 東武バスセントラル
 導入車両 ノンステップ中型バス4台
 (状況により大型バスの場合あり)
 日本共産党はこの路線のバス運行を強く求めてきました。

生活相談・法律相談・

ご意見ご要望

お気軽にお電話ください。
 法律相談は弁護士を紹介いたします
 日本共産党足立区議団 3880-5770(区役所内)
 伊藤 和彦区議 3859 6952(自宅)

《区立認可保育園の増設》

第二新田保育園(仮称)

開設年月日 2010年4月1日(予定)
 定員 0歳児6名、1歳児10名、2歳児13名
 所在地 足立区新田1丁目14 新田一丁目都住12号棟一階
 運営方法 指定管理者(現在募集中)
 待機児が増える中で日本共産党区議団が緊急要望や議会質問でくりかえし要望。やがて議会世論となり実現しました。「以前区立保育園があつた都営住宅の1階が今でも空いている」と指摘しながら、待機児解消は認可保育園増設での提案が実現しました。
 定員は2010年度29名ですが、11年度は3歳児を含め42名に拡大する予定です。

特養ホームの開設・増床

竹の塚翔裕園(仮称)
 開設年月日 2009年11月1日
 定員 特養ホーム100人、ショートステイ10人
 (ユニット個室)
 所在地 足立区竹の塚7丁目19
 運営者 社会福祉法人長寿村
 紫磨園増床計画
 特養ホーム「紫磨園」が定員を増やす方向
 増床数 特養ホーム50人、ショートステイ3人
 増床開設年 2013年度(予定)
 所在地 足立区入谷3丁目6
 運営者 社会福祉法人愛寿会
 日本共産党区議団は待機者(入れない人)の数に見合った特養ホームの増設と従来型の設置を求めています。